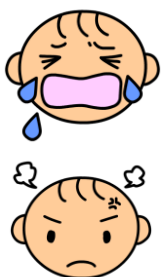


# 教育支援部だより No.10 3月

平成 30 年度が終わろうとしています。今年度、教育支援部だよりを通じて、提案・交渉型の関わりや合理的配慮について、お伝えしてきました。子供たちが、主体的に学んだり、生き生きと生活ができたりするヒントになればと考えています。

本校には、様々な発達段階の子供たちが学んでいます。今回は、校内の教育相談で取り上げられた「1歳半～2歳」の発達段階のAさんへの関わりや支援について紹介します。



## (校内教育相談 担任からの主訴)

- ・感情のコントロールが難しく、落ち着いて課題に取り組めない
- ・泣く、怒ることが長く続く
- ・自傷・他傷・ものにあたる等の行動が見られる



## (実態把握)

発達検査の結果：1歳半～2歳の発達段階

観察の結果：視覚刺激に弱く、見た物にすぐに反応し動いてしまう

人への関りを求める場面が増えている

場面の切り替えが苦手で、次の活動にスムーズに移すことが難しい



## 1歳半頃の世界

- ・可逆の指さし（「～はどれ？」と尋ねられ、指を指して答える）を獲得
- ・「～ではない・・・だ」 明確な意図を主張、調整する力が出てくる
- ・共感の眼差しを向けるようになる
- ・立ち直りの力が出てくる
- ・十分な伝える言葉を持たないために、意図が十分伝わらない。→だだこね、イライラ



## (アセスメント)

発達段階、観察結果から特性をふまえ・・・

### (主訴について)

- ・感情のコントロールが難しく、落ち着いて課題に取り組めない
- ・泣く、怒ることが長く続く
- ・自傷・他傷・ものにあたる等の行動が見られる

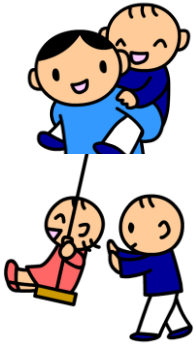
### (日常の支援)

- ・他者との共感を求める時期。追いかけてっこやふれあい遊びをたくさんし、教師との関係を深める
- ・学習場面では、量や時間の調整が必要
- ・言語のみでの指示を減らし、視覚支援を行う

自我が芽生え、思いを伝えようとしているのではないかと

話し言葉で十分伝えることが難しく、意図が伝わらないために泣いたり怒ったりしているのでは？

1歳半頃の発達段階の姿であることを意識する



### (取組)

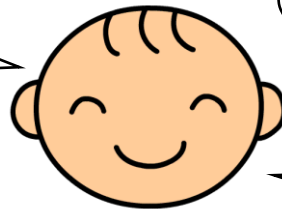
- ・追いかけてこ等教師との楽しい関わり遊びをたっぷり！
- ・iPad や絵カード等の活用で、見通しを持つことや選択をしやすく！
- ・動きを制限する時間を最小限に！



### (半年後の成長の様子)

- ・泣く、自傷は減った
- ・写真やイラストで自分の行きたい場所や体調を伝えるようになってきた
- ・言葉で伝えようとする姿が増えてきた
- ・しっかり体を使って遊んだ後は、担任の声かけて切り替えができる場面が出てきた
- ・いろいろな教師に自ら関わりを求め、対人面が広がった

こっちおいで！



だっこして！

せんせい！  
2階行こ！

### ～Aさんのこれから～

いっぱい楽しいことを一緒にできる大好きな先生にいっぱい伝えたい！という姿、笑顔が見られました。また、話し言葉が増えてきました。

今後、芽生えた自我が拡大し、自己主張が増えていくと予想されます。Aさんの言葉では伝えきれない気持ちを探り、受け止めながら、周りの大人と一緒に折り合いをつけることができるよう支援していきます。

## 「発達」の視点で支援を考えると！

発達検査や知能検査等の客観的な情報と日常の様子から発達段階を探り、発達に応じた課題設定や関わりを！